

科目名	キリスト教学 I		担当者名	楊 周漢(ヤン ジュハン)	
開講年次	1	開講時期	前期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	1
ナンバリング	A0011	該当DP	DP1,DP4	実務経験	
授業概要	本校の建学精神であるキリスト教の教えを理解し、多民族多文化世界の中で良心的な社会人になるために、互に協力し合う授業を目指す。一方的な教えではなく共に考え、共に答えを探していく方式で授業を行う。概念的な説明より、物語(Narrative)を通しての話し合う方式によるキリスト教精神の理解を企てる。				
到達目標	1. 建学精神を理解するようになる。 2. 大学における宗教教育の大切さを理解できるようになる。 3. キリスト教の基礎知識を学び、理解するようになる。 4. 礼拝と祈りの大切さを理解し、平日礼拝や祈りの時間に能動的に参加するようになる。 5. 聖書の構造と内容の基礎知識を身につける。6. 「創世記」に関する基礎知識を得るようになる。				
授業計画	回	授業内容		授業外学習（内容と時間）	
	1	オリエンテーション、自己紹介		課題	90分
	2	「自己」に関する疎通1		課題	90分
	3	「自己」に関する疎通2		課題	90分
	4	大学と宗教: 大学で宗教教育はなぜ必要であるのか1		課題	90分
	5	礼拝とは何か: 「心」を持つ人間として生きる方式1		課題	90分
	6	礼拝とは何か: 「心」を持つ人間として生きる方式2		課題	90分
	7	祈りと人間: 人間は祈りを通して何を希望するのか。		課題	90分
	8	祈りと人間②: 「主の祈り」の内容と構造1		課題	90分
	9	祈りと人間②: 「主の祈り」の内容と構造2		課題	90分
	10	聖書に関する理解: 神の啓示としての聖書、人類の知恵としての聖書		課題	90分
	11	(自己探し) 人間て何? 聖書の人間論－人間の本来性		予習p8～11、創世記1:1～2:3、課題	90分
	12	(自己探し) 人間て何? 聖書の人間論－人間の本来性		予習p8～11、創世記1:1～2:3、課題	90分
	13	(自己探し) 人間て何? 聖書の人間論－人間の現在性		予習p12～15、創世記2:4～4:16、課題	90分
	14	(自己探し) 人間て何? 聖書の人間論－人間の現在性		予習p12～15、創世記2:4～4:16、課題	90分
15	総合討論		予習: 総合討論の準備	90分	
教科書	①聖書 ②桜井希、『共に生きる』日本基督教団出版局				
参考書	鬼形恵子、『キリスト教への扉』、日本基督教団出版局。富田正樹、『キリスト教の出会い、新約聖書』、日本基督教団出版局				
成績評価	方法	割合	備考		
	平日礼拝の出席と態度	30%	礼拝感想文		
	課題&試験	70%	課題+ 期末試験(レポート形式)		
			(授業の中に、レポートに関するフィードバックがあるが、返却はしない。)		
	授業態度		* 授業参加態度による減点と加算点がある。		
			(具体的な基準は授業のオリエンテーションの時に説明する)		
履修上の注意	毎日の忙しい生活の中で、一度は自分自身を静かに振り返り、見つめる時間が大切であり、平日の礼拝とキリスト教学の授業はそのためにもうけられた時間である。 礼拝と授業の時間には、遅刻せずに、聖書と賛美歌、教科書を必ず持参すること。 礼拝と授業の時間には、常に静粛で真摯な態度をとること。				
オフィスアワー	月曜日14時～15時(できれば事前予約要望)		メールアドレス	Cラーニング	